

事業計画に伴う財源内訳

計画期間（令和3年度～令和12年度）の事業計画は、水道施設更新事業、管路更新事業を主に行い、総額約39億円を計画しています。

工種	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	計(千円)
事業計画											
水道施設更新事業	171,719	171,719	171,719	171,719	171,719	171,719	171,719	108,990	108,990	251,860	1,671,873
管路更新事業	60,185	321,376	75,171	75,171	75,171	75,171	75,175	315,965	390,899	453,190	1,917,474
調査費	11,595	24,655	12,345	12,345	12,345	12,345	12,345	21,248	24,994	35,253	179,470
職員給与費	6,710	6,710	6,710	6,710	6,710	6,710	6,710	6,710	6,710	6,710	67,100
その他	3,685	3,685	3,685	3,685	3,685	3,685	3,685	3,685	3,685	3,685	36,850
固定資産購入費	1,925	1,925	1,925	1,925	1,925	1,925	1,925	1,925	1,925	1,925	19,250
計	255,819	530,070	271,555	271,555	271,555	271,555	271,559	458,523	537,203	752,623	3,892,017
財源内訳											
企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫補助金	12,037	80,344	25,057	25,057	25,057	25,057	25,058	67,102	82,088	90,638	457,495
他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事負担金	4,213	22,496	5,262	5,262	5,262	5,262	5,262	22,118	27,363	31,723	134,223
他会計出資金	27,880	26,412	20,458	14,270	12,085	8,284	6,811	1,997	916	0	119,113
その他	211,689	400,818	220,778	226,966	229,151	232,952	234,428	367,306	426,836	630,262	3,181,186
計	255,819	530,070	271,555	271,555	271,555	271,555	271,559	458,523	537,203	752,623	3,892,017

財政収支

計画期間（令和3年度～令和12年度）の財政収支のシミュレーション結果は、下表に示すとおりです。令和10年度の収益的収支において、純利益がマイナスになる原因は県の水道料金改定により、受水費が約39%の大幅な増となること想定されることによるものです。そのため、想定どおりに受水費が増となった場合、経営を維持していくためには、市の水道料金（供給単価）を令和11年度に約21%引き上げることが必要となります。

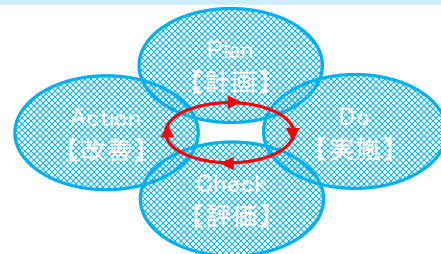
このような想定を踏まえ、水道利用者の経済的負担の低減や受水費負担の低減のために、「推進する実現方策」を展開していかなければなりません。

(千円)

区分	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
収益的収支										
総収益	1,002,908	994,627	988,911	978,264	968,524	959,691	951,673	939,966	1,093,650	1,084,907
給水収益	819,243	811,955	806,967	797,475	789,619	782,331	777,262	767,851	920,534	911,715
その他営業収益	19,060	19,060	19,060	19,060	19,060	19,060	19,060	19,060	19,060	19,060
営業外収益他	164,605	163,612	162,884	161,729	159,845	158,300	155,351	153,055	154,056	154,132
総費用	977,031	973,957	973,366	946,632	947,637	949,331	947,139	1,064,437	1,071,770	1,077,128
維持管理費	187,673	187,556	187,477	187,324	187,198	187,081	187,000	186,849	186,734	186,617
受水費	298,767	298,767	299,586	298,767	298,767	298,767	299,586	415,578	415,578	415,578
減価償却費等	460,774	466,313	472,471	451,942	456,437	460,667	459,191	461,620	469,387	474,933
その他費用	29,817	21,321	13,832	8,599	5,235	2,816	1,362	390	71	0
純利益	25,877	20,670	15,545	31,632	20,887	10,360	4,534	△ 124,471	21,880	7,779
資本的収支										
資本的収入	44,130	129,252	50,777	44,589	42,404	38,603	37,131	91,217	110,367	122,361
企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫補助金	12,037	80,344	25,057	25,057	25,057	25,057	25,058	67,102	82,088	90,638
工事負担金	4,213	22,496	5,262	5,262	5,262	5,262	5,262	22,118	27,363	31,723
その他	27,880	26,412	20,458	14,270	12,085	8,284	6,811	1,997	916	0
資本的支出	502,837	764,086	452,816	397,989	378,631	344,956	331,908	476,216	545,322	752,623
建設改良費	255,819	530,070	271,555	271,555	271,555	271,555	271,559	458,523	537,203	752,623
企業債償還金	247,018	234,016	181,261	126,434	107,076	73,401	60,349	17,693	8,119	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収支不足額	△ 458,707	△ 634,834	△ 402,039	△ 353,400	△ 336,227	△ 306,353	△ 294,777	△ 384,999	△ 434,955	△ 630,262
補填財源	458,707	634,834	402,039	353,400	336,227	306,353	294,777	384,999	434,955	630,262
資金残高	999,650	764,390	739,154	758,550	790,290	846,819	910,371	776,284	752,466	544,285
未償還金残高	808,349	574,333	393,072	266,638	159,562	86,161	25,812	8,119	0	0

水道ビジョンのフォローアップ

新庄市水道ビジョンに掲げる実現方策を着実に推進する体制の構築に努め、目標の達成状況、実現方策の実施状況について定期的に評価し、利用者を含む関係者の意見を聴取しつつ、取り組みの方向性の確認、実現方策の追加、見直し等について、必要に応じてフォローアップを行うものとします。



新庄市水道ビジョンの概要

2021～2030

～未来につづく、安全・安心な新庄の水道～



指野浄水場



赤坂配水池

令和3年3月

山形県 新庄市

水道ビジョン策定の趣旨・計画期間

【策定の趣旨】

◆本市では、平成23年4月に「新庄市水道ビジョン（2011～2020）」を策定し、「安全で安心な水道水の安定供給を図ります」を基本理念に掲げ、各種施策に取り組んでまいりました。

◆その後、国(厚生労働省)では、人口減少社会の到来や東日本大震災の発生により、これまでの水道を取り巻く環境が大きく変化してきたことから、新たなビジョンを掲げて挑戦する「新水道ビジョン」を平成25年3月に策定し、山形県では平成30年3月に、国の新水道ビジョンに掲げられた「安全」・「強靱」・「持続」の理念に基づいた「山形県水道ビジョン」を策定しています。

◆これを踏まえ、各水道事業者への自らのビジョンの作成や見直しが求められています。現行の「新庄市水道ビジョン」が令和2年度(2020年度)までの10年間で計画期間が終了するため、国の「新水道ビジョン」及び「山形県水道ビジョン」との整合をたもちつつ、今後の将来を見据えた事業目標と実現方を示した「新庄市水道ビジョン」を策定するものです。

【計画期間】

◆令和3年度(2021年度)を初年度とし、令和12年度(2030年度)までの10年間とします。

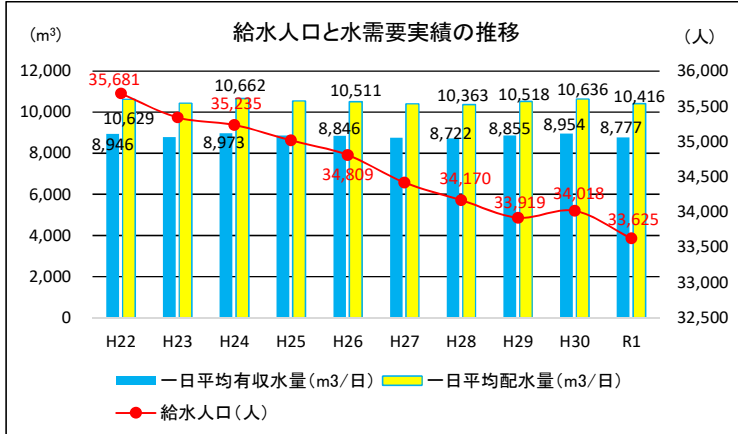
水道事業の現状

【過去10年の水需要】

◆一日平均有収水量は、平成24年度をピークに微減で推移し、平成29、30年度と増加しましたが、令和元年度に再び減少に転じました。一日平均配水量も同じく、平成24年度をピークに微減で推移し、平成29、30年度と増加しましたが、令和元年度に再び減少に転じました。

◆水需要に対し、給水人口は、平成22年度をピークに大きく減少し、平成30年度は簡易水道の統合により増加しましたが、令和元年度に33,625人と再び減少に転じています。

◆給水収益は、水需要の減少に伴い年々減少し、将来も減少する見込みとなっており、事業経営を圧迫する状況となっています。



将来 (R27年度) の見通し

【本市の人口】

◆令和元年度の35,039人から令和27年度(2045年度)で23,018人(社人研H30年推計)になる見込みです。

【給水人口】

◆令和元年度の33,625人から令和27年度で22,327人になる見込みです。

【一日平均有収水量】

◆給水人口の減少に伴い一日平均有収水量も減少し、令和元年度の8,777m³/日から令和27年度で6,768m³/日になる見込みです。有収水量の減少は直接的に料金収入の減少に繋がってきます。

【給水収益】

◆有収水量の減少に伴い、令和12年度には現状よりも約8千万円減少し、約7億5千万円になる見込みです。

【最上広域水道からの受水費用】

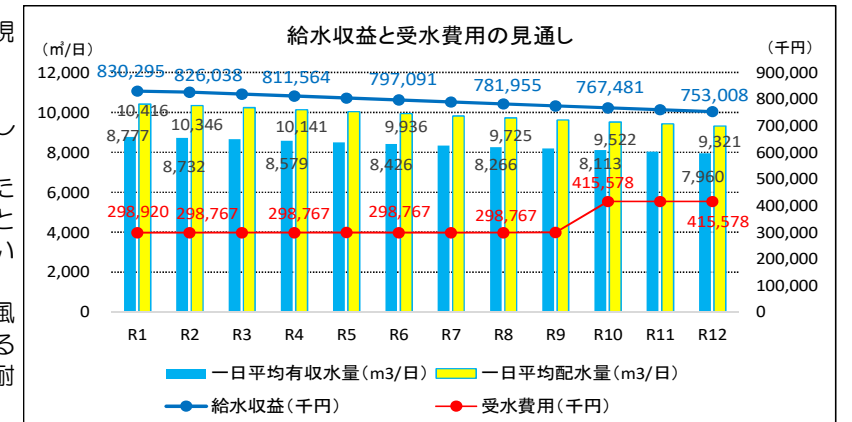
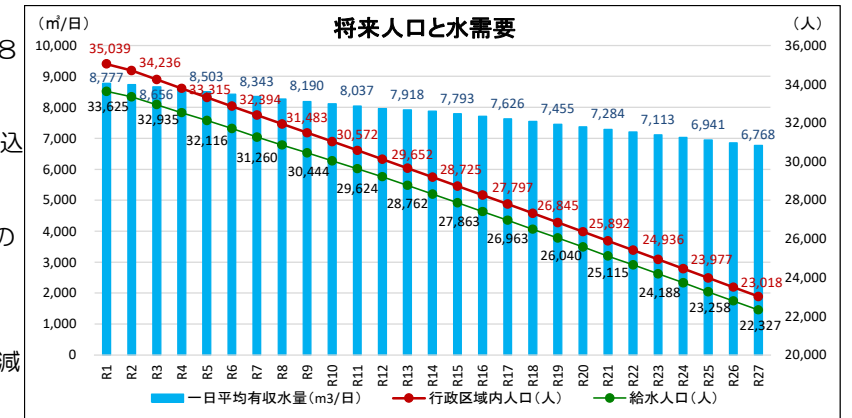
◆令和10年度に約39%の引き上げが予定されていることから、現状に比べ約1億2千万円増加し、約4億2千万円になる見込みです。

【今後の施設更新】

◆上記見通しから、収入が減少し費用が増加することで、より厳しい事業経営となることが、容易に予測されています。

◆今後の施設更新にあたっては、施設の効率性低下の解消を図るため、将来の一日最大配水量に見合った施設規模で更新を進めるとともに、施設の統廃合及び管路のダウンサイジングの検討を行っていく必要があります。

◆また、近年、大規模地震や地球温暖化が原因とみられる巨大台風による河川の流域型洪水、ゲリラ豪雨による洪水等、風水害による被害も多発していることから、基幹施設や重要施設ルート管路の耐震化を進める必要があります。



新庄市水道事業の目指すべき方向性と実現方策

概算事業費 (R3～12年度)

